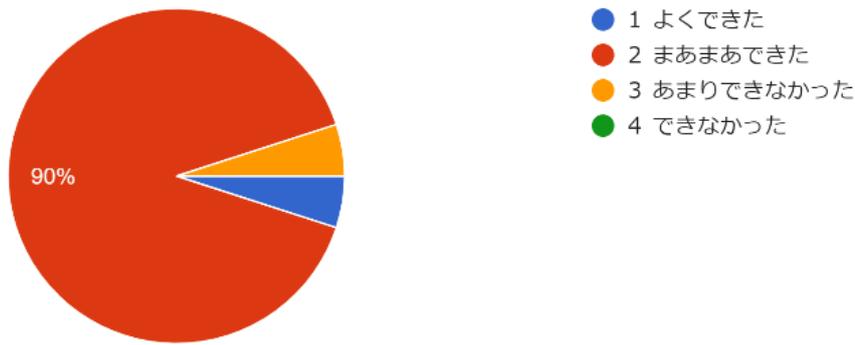
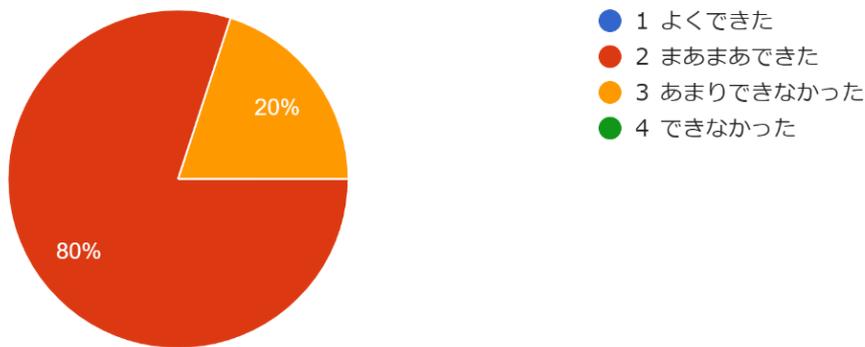


令和5年度 学校自己評価～中間報告及び今後の方策（職員アンケートより）

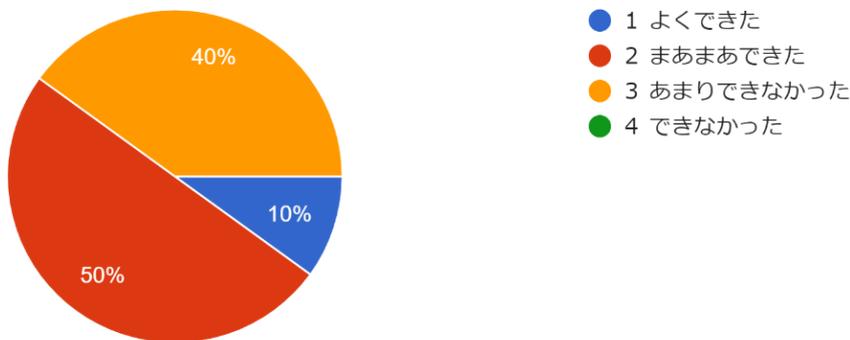
設問1 今年度の重点目標、他者との関わり（力を合わせる）を達成できたか。



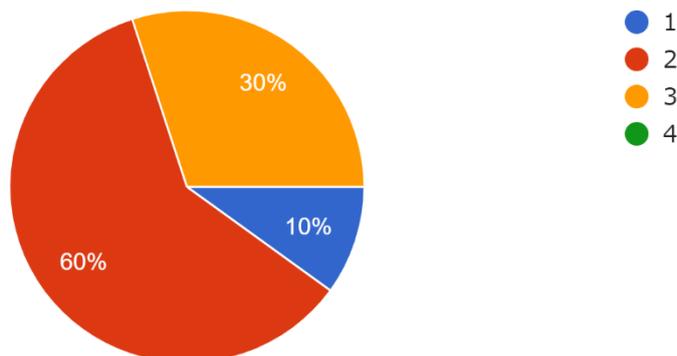
設問2 今年度の重点目標、授業づくり・学力向上（自分で考える）を達成できたか。



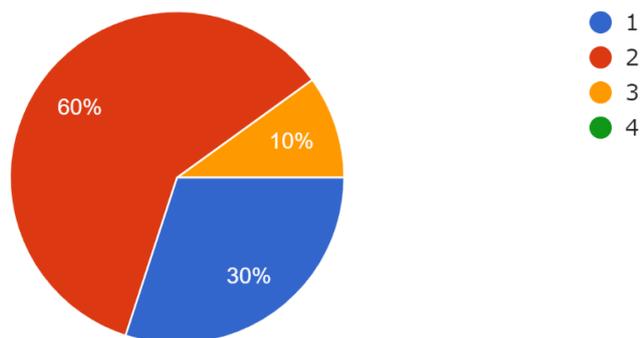
設問3 今年度の重点目標、体力向上・基礎定着（ねばり強く）を達成できたか。



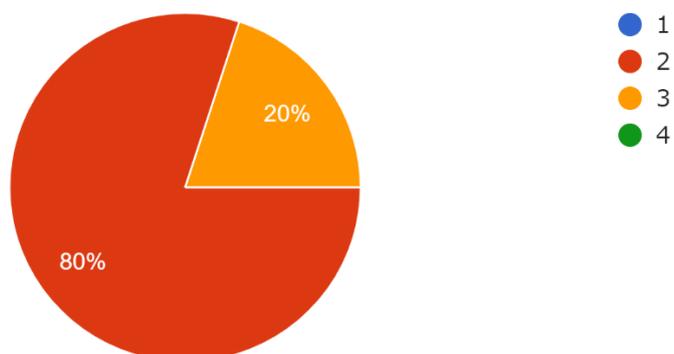
設問4 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れるように、学習環境のユニバーサルデザイン化やスタートカリキュラム、道徳、人権同和教育に積極的に取り組むことができたか。



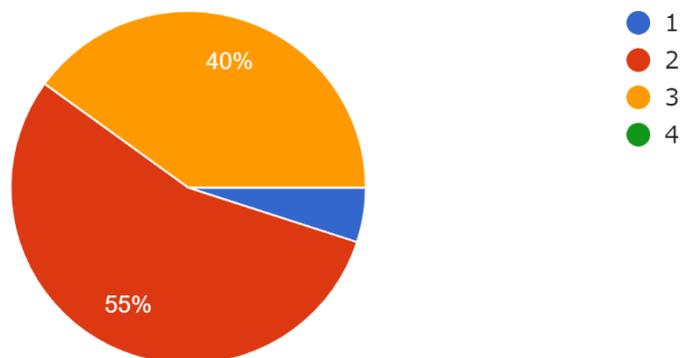
設問5 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活動を通して、児童に体を動かすことの楽しさやできるようになる喜びを味わわせることができたか。



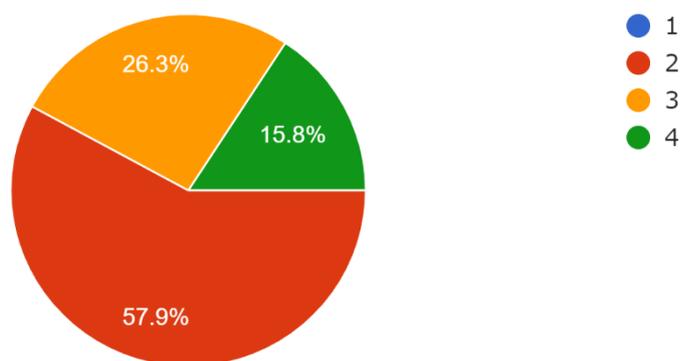
設問6 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れなどを明示し、一人一人に見通しを持たせ児童が主体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。



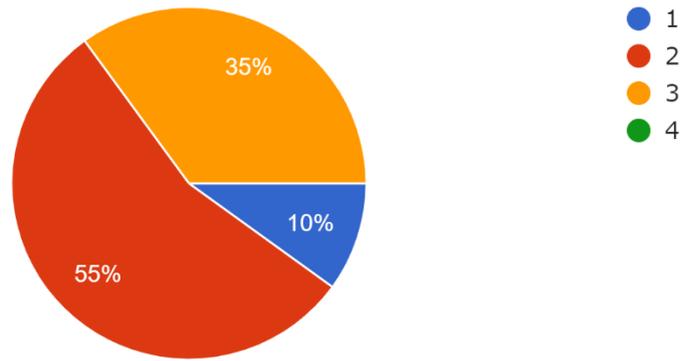
設問7 授業終末のまとめ・ふり振り返りや朝ドリルを確実にしたり、家庭学習の内容を工夫したりすることで、習熟・定着を図る指導ができたか。



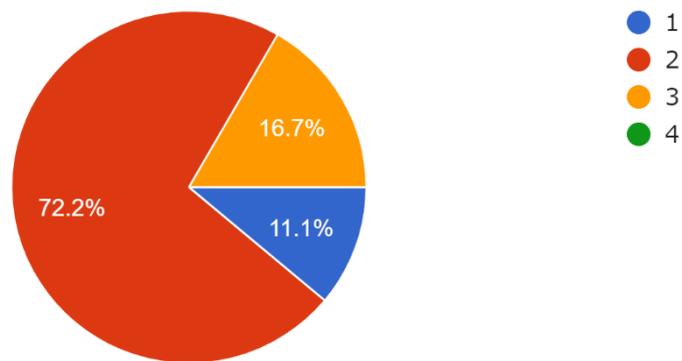
設問8 「聞き方・話し方名人」「声のものさし」を活用し、「はい」の返事や話し方・聞き方などの習慣を身につけさせることができたか。



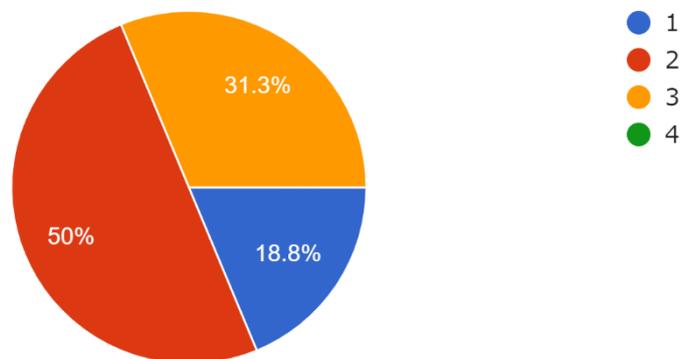
設問9 学習内容や場に応じた学習形態（個別、ペア、グループ、全体）を工夫し、児童が主体的に学び合うことのできる授業を展開することができたか。



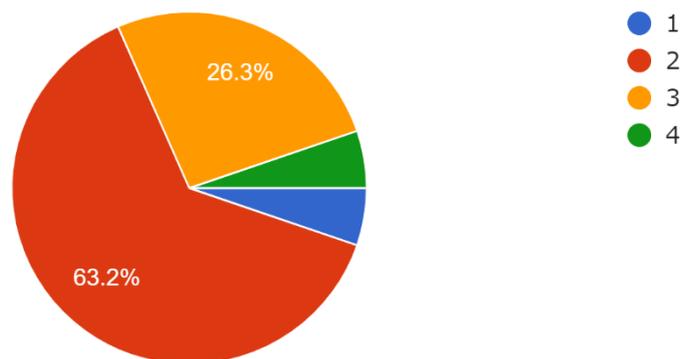
設問10 「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつの大切さを指導し、児童に実践力を身につけさせることができたか。



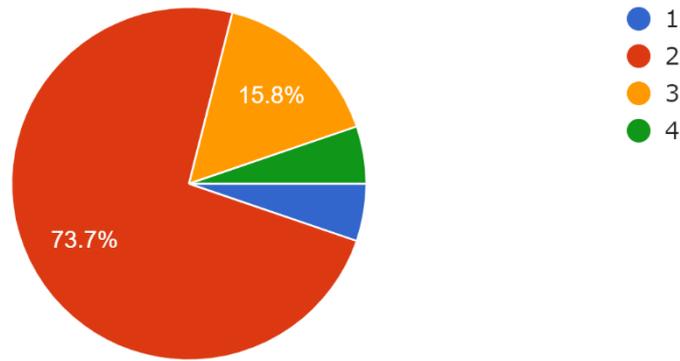
設問11 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流や互いを高め合うための場として位置づけることができていたか。



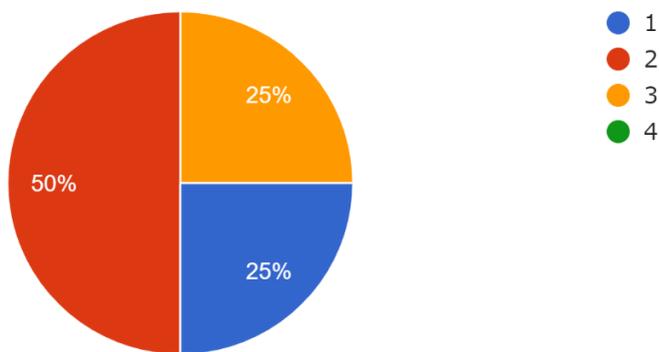
設問12 清掃や児童会の当番活動を継続して行うことで、児童に主体性や粘り強さを身につけさせ、協力して働くことの大切さを味わわせることができたか。



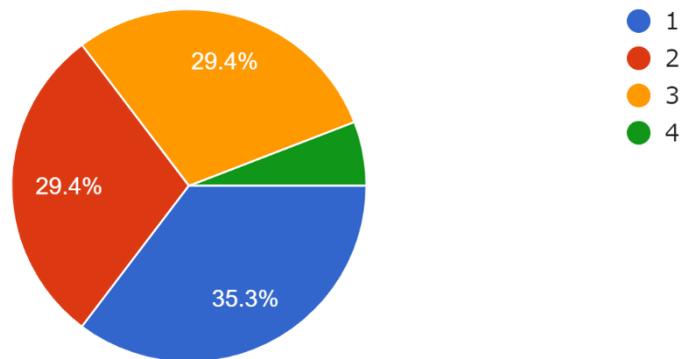
設問13 授業改善を意識した授業や児童一人一人を大切にした授業を保護者に公開することで、学習指導・学級経営について保護者に理解してもらえたか。



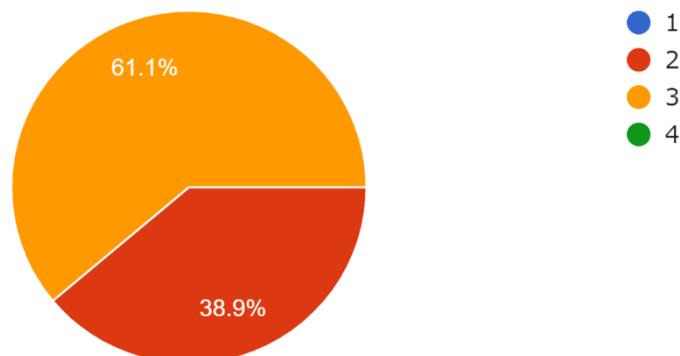
設問14 「学校だより」、ホームページ、「学年だより」、「学級だより」などで学校や児童の様子について保護者・地域に伝えることができたか。



設問15 忘れあい隊の方々やPTAと協力して、児童の登下校時の街頭指導や下校パトロールを行ったり、地区の危険箇所点検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。



設問16 日常的に授業を公開し、互いに見合い学び合うことを通して、授業改善のための研修を深めることができたか。



学校評価アンケートの結果から考える今後の方策

	他者との関わり 「やさしさ」(力を合わせる)	授業づくり・学力向上 「かしこさ」(自分で考える)	基礎定着・体力向上 「たくましさ」(ねばり強く)
1年	互いのよさに目を向けていけるように発達に応じて声がけをしたり、意識させたりしする。		
2年	自分の気持ちを、よいこともそうでないことも(言い方を考えながら)相手に伝えられるようになるように、声がけや指導をしたい。	一人一人が自分ごととして聞き、とらえ、考えられるようにする。めあてを明確にし、何をすればいいか、わかりやすい支援をする。	宿題や朝ドリルなどで、個別に声をかけながら丁寧に見ていきたい。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係を構築していく。 ・トラブルがあったときにどう関わるか、その手立て(スキル)を考え、身につけていく。 ・安心してお互いに発言できる雰囲気(人間関係)をつくる。 ・スキンシップを図る。友だち同士、子どもと教師のつながりとして。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化を図る(家庭への啓発) ・一人ひとりの学習の定着を図る(評価と支援) ・学習で達成できたことを大いに評価し、意欲を高めていく。 	運動の楽しさ、体を動かすことの楽しさを味わえるような手立てを考えていく。(のびのび、総合、学級で)での工夫を考える)
4年	友たちの話をしっかり聞く子どもたちにする。	その時間に考えることをはっきりさせて書く。	自主学習(まずは試写から)を丁寧に毎日続ける 3分～5分起立して音読
5年	高原学習や音楽会などで係や楽器、パートごと力を合わせ、達成感へつなげる。→互いのよさを伝え合う場を設ける。	教科担任制。授業者の専門性を学年会等を通して高め、授業の精度をあげていく。	決まった時間に決まったドリル学習を行い、ねばり強く、できるまでやることを大事にする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人がいるが、相手を受け入れようとする気持ちをもっている。 ・一年生へのやさしさがある。児童会活動に自主的に取り組める子が増えているので全体に広げたい。 	授業への自主的な取り組みが薄い児童がいる。指導側の課題もあるので、自主的な取り組みの指導の在り方も見直していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・無言清掃にしっかりと取り組もうとしている。 ・継続して力をつけた水泳。継続して取り組むことの大切さを伝えたい&継続した指導を心がけたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・よい姿を認めて、自信を持たせる。教師側からの「いいね!」の声がけを増やして、そのよい姿を広げたい。 ・力がついたと実感と自覚ができるような声がけの工夫をしたい。 		
ふれひま	音楽会に向けて各学年の演奏に参加できるよう練習に寄り添う。	集中力が持続するように工夫したい。	メリハリをつけて学習に向かえるようにしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調子を伝えられるようにしたい。 ・あいさつができない児童がいるが、あいさつを返せるようになってほしい。ノックをしての入室を行う。 		
専科	敬称で呼ぶ姿が定着してきているので引き続き大事にしたい。	タブレットによる学習もよいが、手書きで記録して確かな内容の定着を図りたい。	「聞く」力を伸ばしたい。集中して考えながら聞かせるために、一斉伝達だけではなく、グループの代表者への伝達を介して、一人ひとりに伝達させることや、黙って板書だけを見るように指示したりして、聞く力をつける。